# 平成 24 年度　事務事業事後評価調書 （平成　23　年度事業）

| 整理番号 | 2 | ー | 8 |
|---|---|---|---|

## 1　事務事業の表示

※ ■ ： 該当

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 事務事業名 | 町勢要覧発行事業 | | | | | |
| 評価者 | 担当課名 | | 財務企画課 | 担当係名 | | 企画調整係 |
| | 管理職 | 職名 | 課長 | 作成者 | 職名 | 係長 |
| | | 氏名 | 佐々木幸博 | | 氏名 | 大水寛仁 |
| 事業の概要 | 町勢要覧は、町の産業・観光・特産品・各分野の政策などを網羅した刊行物として、4年に一度、リニューアルしており、時勢に沿った町の姿を内外に発信する媒体として編集発行しているものである | | | 全体計画（平成 23 年度～ 23 年度） | | |
| | | | | 事業費 | 国・道支出金 | 千円 |
| | | | | | 地方債 | 千円 |
| | | | | | その他 | 千円 |
| | | | | | 一般財源 | 1,400 千円 |
| | | | | | 事業費計 | 1,400 千円 |
| 実施方法 | ■ 直営 | | 民間委託 | | その他（　　） | |
| 第５期総合計画（前期） | ■ 登載事業 | | 非登載事業 | 優先度 | B | |
| 事業の位置付け | 政策目標 | 5 | ささえあい・雄武～協働によるまちづくりの推進 | | | |
| | 基本施策 | 22 | 住民主体のまちづくりの推進 | | | |
| | 単位施策 | 2 | まちづくり情報の共有化 | | | |
| | 事務事業の種類 | ■ | 自治事務 | | 法定受託事務 | |
| | その他計画・根拠等 | | | | | |

| 事業費 | 実施年度 | 20年度（実績） | 21年度（実績） | 22年度(実績) | 23年度(実績) | 24年度(見込) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 国・道支出金 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| | 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| | その他財源 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| | 雄武町負担額（一般財源） | 千円 | 千円 | 千円 | 1,343 千円 | 千円 |
| | 合計 | 千円 | 千円 | 千円 | 1,343 千円 | 千円 |

## 2　事務事業の目的・内容（Plan・Do）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 【誰、何が（対象）】 | 町民、町外者（主として町外者） | 望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標） | | |
| 【抱える課題やニーズは】 | 町内外に対して、町の情報を積極的かつ分かりやすく発信していく必要がある | 発行部数、4年間での使用部数（H19年度発行分） | | |
| | | 指標（指標計算式／解説） | 目標値及び実績値 | |
| 【どのような状態になることを目指したのか（意図）】 | 情報発信手段の一つとして活用を図り、雄武町特有の素材や魅力について、広く理解してもらう | ① 発行部数（H23年度発行数） | 目標年度 | 平成23年度 |
| | | | 目標値 | 2,000 部 |
| | | | 実績値 | 2,000 部 |
| | | | 達成度 | 100.0 % |
| 【その結果、どのような成果を実現したいか】※成果＝目的 | 雄武町の知名度向上、雄武町に対する愛着心の醸成、交流人口の拡大等に資する | ② 使用部数（H19年度発行分） | 目標年度 | 平成23年度 |
| | | | 目標値 | 2,000 部 |
| | | | 実績値 | 1,423 部 |
| | | | 達成度 | 71.15 % |

| 内容（どのような手段で何を行ったか） | |
|---|---|
| 町勢要覧の編集発行 | 平成19年度の町勢要覧を完全リニューアルした平成23年度版を2,000部作成し、町内外の団体等に配布した。 |
| | |
| | |

## 3 事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

| | | |
|---|---|---|
| **必要**<br>必要／概ね必要／課題あり | □義務的なもの<br>□全部<br>□一部 | 情報発信手段としては、インターネットの活用も効果的であるが、紙媒体には特有の見やすさやページをめくる感覚など、直感的に内容が伝わりやすいといった利点があり、インターネットの普及と相まって、紙媒体の必要性も永続的なものと判断する |

(2)事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

| | | |
|---|---|---|
| **有効**<br>有効／概ね有効／課題あり | 設定した目標値の達成状況<br>■達成<br>□ほぼ達成<br>□下回る | ・計画どおり平成23年度版を2,000部発行し、町内外の関係団体等に配布した<br>・平成19年度版については、町内外を問わず様々な団体・個人からの求めに応じて配布し、町のPR資料として有効活用が図られた |

(3)事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

| | | |
|---|---|---|
| **効率的**<br>効率的／概ね効率的／課題あり | 判断の理由<br>■事業費抑制<br>□人員削減<br>□時間短縮・作業軽減<br>□その他 | 印刷製本業務について見積り合わせによる業者選定を行い、後年次に増刷費用が生じないよう必要部数を発行し、コスト削減に努めた |

(4)事務事業の公平性

| | | |
|---|---|---|
| **公平**<br>公平／概ね公平／公平でない | 判断の理由<br>□受益者負担がある<br>■受益者負担がない<br>□受益が一部に偏る<br>□その他 | 希望者に対しては、分け隔てなく配付しており、公平である |

## 4 総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

| 自己評価（一次評価） | 評価会議評価（二次評価） | 町長評価（三次評価） |
|---|---|---|
| A | | |
| 町勢要覧は、町の総合情報誌としての役割を担っており、リニューアルごとに時勢に即した内容とするため、今後も計画どおり進めていく | | |

**今後の展開方向**
（Action）

| | | |
|---|---|---|
| **継続／現状維持** | | |
| 町政要覧のリニューアルは4年に1度、計画的に行っており、今後も同様の期間で発刊し、雄武町の姿を町内外に広くPRしていく必要がある | | |

＊展開方向の区分
○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更　○ 終了　○ 休止　○ 廃止

## 5 その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）